

出題分析		
試験時間 90 分	配点 ※1	大問数 3 題
分量 (昨年比較) [減少 同程度 増加] ※2	難易度変化 (昨年比較) [易化 同程度 難化] ※2	
【概評】 ここ数年、関大の英語は出題の形式に大きな変化はなく、その分対策がしやすいと言える。だが、それぞれの大問にいくつか紛らわしい設問が見受けられ、そうした問題にいたずらに時間を取られないよう注意することが必要である。試験時間は 90 分で、大問は 3 題。大問 I は、会話文の空所補充と、文整序から成る。大問 II の長文読解は、空所補充と内容一致文完成が出題される。大問 III の長文読解は、質疑応答と内容一致文完成とが出題される。		

※1 学部・型・方式により、配点が異なる。入試要項を参照。

※2 分量・難易度の比較は昨年速報を実施した 2/5 入試分 (全学日程 2) との比較。

設問別講評			
問題	出題分野・テーマ	設問内容・解答のポイント	難易度
I	A. 会話文 「アジアの見た目に華やかな細工菓子」 ○202 語(昨年:166 語)	A.は、大学のカフェテリアでの Ikuta と留学生 John の会話。(3)は、直後の John の応答が You must have!だが、have の後に選択肢 B の I don't think I've seen ~の seen 以下が省略されている。	標準
	B. 文整序 「ビザ発給に影響を与える要素」 ○218 語(昨年:240 語)	B.は、ビザの発給がその国の経済状況や国同士の友好関係によって影響を受けるという文章。選択肢 E の So, travelers from wealthy and stable countries から始まる文章をどこに入れるかが最大のポイント。選択肢 C の冒頭が Based on these criteria, となっており、E の内容を「これらの基準」に含められるよう、E→C の順にしたい。	標準
II	長文読解 『蠅の王』の作者ウィリアム・ゴールディングの生涯 ○語数: 856 語 (昨年) 919 語	今では古典的な名著とされる『蠅の王』の作者に関する伝記的な文章。話の筋道をしっかり追いながら A.の空所補充と B.の内容一致文完成を同時に解いていくことが重要となる。B(5)は本文第 8 段落中の earn large amounts of money に続く文が解答根拠となる。B(7)では第 12 段落の write books about の後に様々な主題の作品が提示されているので選択肢 A の books about a variety of things が正解だと判断できる。	標準

設問別講評			
III	長文読解 「なぜ子どもの学習能力は高いのか」 ○語数：841 語 (昨年) 831 語	なぜ子どもの学習能力が高いのかを説明した文章。設問の中には一部紛らわしい選択肢もあった。A.の質疑応答の下線部③にある neuroplasticity は, neuro-が「神経」を意味し, -plasticity が plastic 「プラスチック」由来で, 全体で「神経の柔軟性」といった意味になる。下線部直前で based on experiences とあり, 選択肢 B は, 選択肢 A の after a few attempts にあるような語句, つまり「経験に基づく」ような表現がないので避ける。C は, many times が下線部③の quickly とそぐわない。	標準

※ (昨年)の語数は, 速報を実施した 2/5 入試分 (全学日程 2) を参考として記載。

設問構成 (設問数・形式・内容)						
大問番号	設問数	選択式				
		空所補充	文整序	内容一致文完成	質疑応答	その他
I	2	5	6			
II	2	15		7		
III	2			7	10	

※「選択式」の欄の数値は, 各設問内の小問数を表す。

合格のための学習法
長く重厚な文章を読ませる関西大学の入試で合格点をとるには, 文法に基づく強靱な読解力を身につけることが肝要だ。そのためには早いうちに英文を読むための文法をしっかりと理解し, 身につけておかなければならない。同時に辞書を引きながら毎日こつこつ英文を読み進めていこう。その際に速く読もうとしてはいけない。スピードを気にすると読解力は身につかないからだ。まずはゆっくり読めるようになる。そうすればスピードは後から自然についてくる。また, 単語・熟語集を毎日少しずつやることも忘れずに。これらのことを1年近くに渡って続けた人間だけが合格の喜びを味わえるということ, ぜひ忘れないでほしい!